

一般社団法人日本鉱物科学会
平成28年度 定時総会 資料

日時:平成29年9月12日(火)9:00~10:10

場所:愛媛大学 城北キャンパス 南加記念ホール(〒790-8577 松山市文京町2-5)

開会宣言

会長挨拶

物故会員への黙祷

議長選出 () 会員

定足数の確認 $906 \text{ 名} \times 10\% = 91 \text{ 人以上}$ () 名(当日 人 + 委任状(書面・電磁) 人含)

目的事項

報告事項

- I. 平成28年度(一般社団法人第1期)事業報告(和文誌, 英文誌編集, 行事, 広報, 渉外, 庶務, Elements, 会員, その他)
- II. 新名誉会員の件
- III. 細則等改正の件(運営細則, 会員会費規定など)
- IV. 平成29年度(一般社団法人第2期)事業計画書及び収支予算案などの件
- V. その他

決議事項

1. 第1号議案 平成28年度(一般社団法人第1期)決算承認の件

授賞式

- 一、日本鉱物科学会賞授与
- 一、渡邊萬次郎賞授与
- 一、日本鉱物科学会論文賞授与
- 一、日本鉱物科学会研究奨励賞授与
- 一、日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与
- 一、JMPS学生論文賞授与

資料

- 1 平成29年度予算書(8頁)
- 2 平成28年度決算報告書
1) 貸借対照表 (9頁) 2) 正味財産増減計算書 (10頁) 3) 財務諸表に対する注記(11頁) 4) 附属明細書(11頁)
- 3 監査報告書(12頁)

報告書

1. 平成28年度事業報告 (一般社団法人第1期 平成28年9月1日~平成29年7月31日)

会長挨拶

一般社団法人日本鉱物科学会が定款に定める事業の概要は以下のとおりである。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 和文誌(岩石鉱物科学)、英文誌(Journal of Mineralogical and Petrological Sciences)、その他の冊子版、電子版による発行
- (2) 総会、講演会、研究部会、その他学術に関する集会及び行事の開催
- (3) 研究の奨励及び業績の表彰
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

平成28年度は一般社団法人日本鉱物科学会として第1期の事業報告になります。

会員の皆様のご理解をいただき、任意団体日本鉱物科学会は平成28年9月30日に解散し、平成28年10月1日に残余財産及び会員を一般社団法人日本鉱物科学会に移転することができましたこと改めて御礼申し上げます。お陰様で法人として順調に学会事業を執行することができました。

また、皆様ご承知のことと存じますが、社団法人化の記念事業の一環として進めてきた、日本の石 すなわち「国石」の選定事業が金沢大学の総会において行われ、「ひすい(ひすい輝石及びひすい輝石岩)」が国石として選定されたことを、この一般社団法人の定時総会で正式にご報告します。なお、選定作業の詳細は岩石鉱物科学45巻6号170頁に掲載しました。

更に国石が「ひすい(ひすい輝石及びひすい輝石岩)」に決定したことから当学会として以下和文誌、英文誌、年会などの報告にもありますように、岩石鉱物科学への「日本の石」についての紹介記事掲載(電子ジャーナル早期公開中)、JMPSへの国石「ひすい(翡翠輝石、翡翠輝石岩)」特集号(112巻5号 October)掲載事業も関係各位の協力のもと進められてきております。また、対外的にはElementsのJAMS Society News、JpGU News Letter への国石紹介記事掲載も報告します。

以下の個別の事業状況については、各業務を一任している各担当者から報告します。

- (1) 和文誌(岩石鉱物科学)、英文誌(Journal of Mineralogical and Petrological Sciences)、その他の冊子版、電子版による発行事業

【1】和文誌(岩石鉱物科学)編集報告(長瀬和文誌編集幹事・理事)

1. 編集状況報告

- (1) 発行状況:46巻2号(3月号)電子ジャーナル5/13公開冊子5/16発送完了
46巻3号発行予定時期(9月末予定) 受理論文1編、その他の記事:国石「ひすい」早期公開
- (2) 現在査読中論文:4編(依頼総説原稿1編含む)

(3) 過去発行6号分の内容報告 45巻3号(5月号)～46巻2号(3月号) (平成29年7月31日現在)

6号分	件数	頁
原著論文	1件	20p
短報	0件	0p
総説	0件	0p
資料・解説(受賞講演含む)	10件	67p
訂正	2件	1.5p
新刊紹介	4件	2p
ニュース(他学会案内, 教官公募等)		1p
投稿規定		6p
学会記事(評議員会・総会議事録,)		31.5p
2016年年会プログラム 2017年会案内		29p
追悼文, その他		0p
総目次		3p
広告 1件		1p
白頁		6p
6号分 合計頁 (平均28頁)		168p

2. 編集委員会メール審議報告

<2016/10/28メール審議>

- (1) GKKへの学会プログラム掲載の取りやめを承認した,
- (2) GKKへの「日本の石」についての紹介記事掲載を「その他の記事」として承認した。
- (3) 論文掲載のフォーマットでの印刷を承認した。
- (4) 論文印刷フォーマット掲載が認められた場合の掲載頁等を承認した。
- (5) 依頼原稿担当者の変更

総説：長瀬委員長，鉱物の分析及び実験・観察のコツと勘どころ：小暮委員，日本新産鉱物情報：坂野委員，博物館紹介：宮島委員，フィールド紹介：高澤副委員長

<2017/02/07 メール審議>

その他の記事：国石選定事業と国石「ひすい」のカラー写真掲載印刷代について多数決で承認した

[2] 英文誌 (JMPS) 編集報告 (平島JMPS編集幹事・理事)

1. 編集状況報告 (2017年7月31日現在)

(1) 今年度平成28年度(会計期間)発行状況:111巻2号(4月)～112巻1号(2月)発行完了[参考:表2]

111巻2号, 3号のSpecial Issue: Metamorphism and continental growth発行により年間掲載予定頁360頁を大幅に超え452頁となった。

(2) 平成29年度発行状況: 112巻2号(4月号, 50頁), 3号(6月号, 50頁)発行済

今後の発行予定: 112巻4号(8月号)現在印刷中で予定通り発行。112巻5号(10月号ひすい特集号)発行予定

[参考:表1] WEBシステム利用後の投稿数

Month	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
Jan		3	2	2	5	2	4
Feb			2	1	2	2	0
Mar		2	0	4	2	2	7
Apr		2	3	1	5	3	12
May		4	0	3	5	4	3
Jun		12	6	9	4	3	5
Jul		3	3	8	9	12	9
Aug		5	2	1	7	1	
Sep	3	2	1	4	5	2	
Oct	16	14	11	16	9	3	
Nov	2	5	4	4	5	8	
Dec	3	3	2	6	5	2	
Total	24	57	36	59	63	44	40

[参考:表2] 111巻2号(4月)～112巻1号(2月)

(平成28年会計決算刊行費掲載頁)

6号分	件数	頁数
Reviews	1件	3p
Articles	29件	377p
Letters	10件	54p
Technical	0	0
Editorial		1p
Errata	1件	1p
投稿規程		5p
Index		4p
Contents		6p
白頁		1p
6号分 合計頁		452p
1号平均頁		75.3p

(3) 投稿状況報告 [参考:表1]

2016年44件(海外8件), うち受理38件(海外8件), 2017年40件(海外11件), うち受理22件(海外11件)

海外: 中国, エジプト, グルジア, イラン, ロシア, USA, スリランカ, トルコ, 英国)

(4) 査読状況報告: 査読中20編, 返却中4編, 受理4編, Reject 2編

(5) 2016 JMPS Impact Factor: 0.409 (2015⇒0.648 2014⇒0.742 2013⇒0.656, 2012⇒0.589)

2. Letter 企画報告

2016年年会講演を対象にLetterを募集 申込9件 投稿7件(受理4編, 査読中1編, Reject 2編)

2017合大会講演を対象にLetterを募集 申込10件 投稿6件

3. Special Issue 特集号報告

111巻2号(4月), 3号(6月): Metamorphism and continental growth

112巻5号(10月)掲載予定 国石「ひすい(翡翠輝石、翡翠輝石岩)」特集号

ゲスト編集委員: 宮脇律郎, 辻森樹, 宮島宏

招待原稿 総説2編, 依頼原稿 総説4編, 一般投稿 5編, 受理6編(早期公開中1編, 印刷中5編) 他査読中

4. 平成28年度JMPS学生論文賞授賞論文報告

(1) 吉田健太会員

3D chemical mapping of 'Mn-caldra shaped zoning' garnet found from the Sanbagawa metamorphic belt of the Besshi district, SW Japan, Kenta YOSHIDA and Takao HIRAJIMA, 110-5, 197-213

(2) 菊池亮佑会員

Cs-sorption in weathered biotite from Fukushima granitic soil, Ryosuke KIKUCHI, Hiroki MUKAI, Chisaki KURAMATA, and Toshihiro KOGURE, 110-3, 126-134

5. その他

- (1) 電子ジャーナルpdfファイルのコピー禁止セキュリティを解除した。
- (2) JMPS学生論文賞審査の問題点について検討した。

(2) 総会、講演会、研究部会、その他学術に関する集会及び行事の開催事業

[1] 行事報告・年会報告(黒澤行事幹事・理事)

1. 日本鉱物科学会 2016年年会・総会 報告

日程：2016年9月23日(金)～26日(日) (巡検中止) 会場：金沢大学角間キャンパス
＜2016年年会報告＞

2016年9月23日(金)より9月25日(日)まで、金沢大学角間キャンパス自然科学本館1階講義棟及び大講義棟において、日本鉱物科学会2016年年会・総会が開催され、セッション形式による口頭講演、ポスター講演、懇親会、総会、評議員会、各種委員会、学会賞等受賞講演、シンポジウム、日本の石選定が行われた。

今年度2016年年会ではシンポジウム「ちきゅう掘削鉱物科学」が招待講演のみで開催され、LOCにより地元の高校生や一般に呼びかけがあり、多数の一般参加があった。その他のセッションは、「スペシャルセッション2件」、レギュラーセッション他8件(R7: 岩石・鉱物・鉱床一般は資源地質学会と共催)であった。年会での発表講演総数は237件(シンポジウム6件含)(口頭144件、ポスター93件)であった。年会参加者総数は278名(一般正会員177名 + 学生正会員48名 + 非会員一般16名 + 非会員学生37名)であり、懇親会参加者総数は130名(一般107名 + 学生23名)であった。

また、日本鉱物科学会総会では任意団体解散と一般社団法人移行の決議が行われ、その後、一般社団法人化の記念事業の一環として進めてきた日本の石すなわち「国石」の選定が会員による投票で行われ、「ひすい(ひすい輝石およびひすい輝石岩)」を国石として選定し、NHKをはじめ複数のメディア取材があった。ポスター会場には「ひすい」をはじめ選定候補に挙がった貴重な鉱物の標本が展示された。詳細は岩石鉱物科学45巻6号170頁に掲載した。

懇親会はKKRホテル金沢で開催され、参加者同士の親睦がおおいに深められた。展示広告業者は5社であった。また、金沢市と石川県から補助金を得ることができた。

今年の「研究発表優秀賞」審査の結果、受賞者は3にて報告記載します。

2. 日本地球惑星科学連合2017年大会

日程：2017年5月20日(土)～5月25日(木) 会場：幕張メッセ国際会議場

3. 日本鉱物科学会 2017年年会・総会 開催状況報告

日程：2017年9月12日(火)～14日(木) 会場：愛媛大学城北キャンパス

内容：「スペシャルセッション」3件、「レギュラーセッション」8件

演申込み期間：6月19日(月)9時～7月10日(月)17時 (WEBサイト利用)

2017年年会では、最終日14日の講演終了後、気楽に参加できるクロージングセレモニーを

実施して「研究発表優秀賞」の授賞式を行うことに決定した。

巡検開催：9月15日に愛媛県西条市 市之川鉱山(後援：日本地質学会)の巡検を実施する。

4. 今年から講演要旨集冊子印刷をやめ、WEB上で閲覧することになった。これを機にプログラム編成から当学会用にカスタマイズしたWEBシステムを利用しスムーズな編成が行われた。

5. 2018年年会開催予定 2018年9月19日～21日 於 山形大学

[2] 広報報告(伴広報幹事・理事)

(1) 広報委員会委員の主な役割の分担：橋委員：将来計画委員会との連絡、門馬委員：ホームページサポート、亀井委員と奥村委員：JpGUでの学会ブース。奥村委員：学会Twitter管理。

(2) 会員へのML送信を実施した(平成28年度中は17件)。内容は、学会事務連絡、公募案内、関連学会案内など。

(3) 一般社団法人化記念事業、日本の石(国石)の選定後の種々報告に関する対応を行った。

(4) 各賞受賞者へ受賞写真などを送付した。

(5) 一般社団法人化記念事業として、鉱物・岩石試料の寄贈を募り3名から寄贈があった。

(6) 連合大会の日本鉱物科学会ブース展示対応を行った。

1. 学会誌配布、年会、表彰、入会案内のポスター紹介、2. 学会会員の執筆した書籍の展示・紹介、3. “Elements”の配布、4. 「一家に1枚：鉱物-地球と宇宙の宝物」ポスター配布、5. 寄贈試料の展示。

(7) 地学オリンピックでの「一家に1枚：鉱物-地球と宇宙の宝物」ポスター配布。ポスターを追加印刷した。

[3] 渉外報告(川本渉外幹事・理事)

「本学会会員執筆書籍の展示」は、今回も引き続き行われており、昨年までに献本された本は29冊であり、今年のJpGU展示として新たに2冊が献本され合計31冊である。

[4] Elements報告(片山Elements幹事)

以下の記事をJAMS Society Newsとして編集し、Elementsに投稿した。JAMSは1年間に6号で8ページ頁使用可(会員～1000名の学会)であり、毎号1頁を目安に記事を作成している。2017年は以下の通りである。

2017 No.1 (2月号)

・ From the president (土山会長)、・ Jadeite: the national stone of Japan (土山会長) ・ Invitation to the JpGU-AGU Joint Meeting 2017

・ Journal of Mineralogical and Petrological Sciences Vol. 111no. 6

2017 No.2 (4月号)

・ Recent studies at the Isotope Imaging Laboratory (IIL), Hokkaido (坂本さん) ・ Journal of Mineralogical and Petrological Sciences Vol. 112, no. 1

2017 No.3 (6月号)

・ Reconsidering partially ordered (小松さん) ・ Journal of Mineralogical and Petrological Sciences Vol. 112, no. 2

2017 No.4 (8月号)

・ オマーンオフィオライト陸上掘削 (高澤さん)、・ Journal of Mineralogical and Petrological Sciences Vol. 112, no. 3

2017 No.5 (10月号)

・ Japan Association of Mineralogical Sciences Awardees (1)、・ Journal of Mineralogical and Petrological Sciences Vol. 112, no. 4

2017 No.6 (12月号) (予定)

・ Japan Association of Mineralogical Sciences Awardees (2)、・ Report of annual meeting of JAMS

・ Journal of Mineralogical and Petrological Sciences, Vol. 112, no. 5

(3) 研究の奨励及び業績の表彰

【1】平成28年度日本鉱物科学会賞表彰

- 第16回受賞者：大藤弘明 会員（愛媛大学）
受賞題目「ナノマイクロ領域における鉱物の結晶化・組織化メカニズムに関する研究」
第17回受賞者：川本竜彦 会員（京都大学）
受賞題目：「含水マグマ・流体の高温高压条件下での挙動に関する研究」

【2】渡邊萬次郎賞表彰

- 第33回受賞者：小藤吉郎 会員

【3】平成28年度日本鉱物科学会論文賞表彰

- 第18回受賞論文：Ti-in-garnet thermometer for ultrahigh-temperature granulites. J.MPS, 111-3, 226-240 (2016)
受賞者 川寄智佑会員 本吉洋一会員

【4】平成28年度日本鉱物科学会研究奨励賞表彰

- 第21回受賞者：境 毅 会員（愛媛大学）
研究対象：「マルチメガバル領域における鉱物高压相の状態方程式の研究」
第22回受賞者：越後拓也 会員（秋田大学）
研究対象：「有機鉱物の生成機構およびナノ鉱物の表面構造と反応性に関する研究」

【5】平成28年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞表彰

- 第10回受賞者：大里 齊 会員（名古屋産業科学研究所・上席研究員、Univ. Oulu in Finland, 客員研究員）
題目：「エレクトロセラミックス分野に於ける結晶構造と特性の相関から新規材料の設計・開発と応用鉱物科学の実践」

【6】平成28年度 J.MPS 学生論文賞受賞論文表彰

- 第3回受賞論文：Kenta YOSHIDA and Takao HIRAJIMA: 3D chemical mapping of 'Mn-caldera shaped zoning' garnet found from the Sanbagawa metamorphic belt of the Besshi district, SW Japan. 110-5, 197-213.
受賞者：吉田健太 会員（JAMSTEC）
第4回受賞論文：Ryosuke KIKUCHI, Hiroki MUKAI, Chisaki KURAMATA, and Toshihiro KOGURE: Cs-sorption in weathered biotite from Fukushima granitic soil. 110-3, 126-134.
受賞者：菊池亮佑 会員（東京大学）

【7】20016年年会研究発表優秀賞表彰

- 第38回受賞者：菊池亮佑（東大・院理） R4-P03：加水黒雲母の層間内におけるセシウムの拡散速度の定量
第39回受賞者：鈴木康太（神戸大・院理）
R5-24：雰囲気制御ガス浮遊システムの開発：コンドリュール組織の再現を目指して
第40回受賞者：木村卓史（東大・院理）
R6-02：早池峰-宮守オフィオライト中の超苦鉄質貫入岩から推定する融解機構と オルドビス紀マントルの熱状態
第41回受賞者：伊神洋平（京大・院理）
R8-P09：東南極 Napier 岩体に産する珪線石の最高経験温度推定 — TEM による微細組織観察と Al/Si 秩序度分析

(4) 本会の目的を達成するために必要な事業

【1】庶務報告（中村庶務幹事・理事）

- (1) 幹事会、理事会開催調整、監査立ち合い（議題作成、議事録作成）、総会開催関連
第1回定例理事会開催：平成28年9月24日（土）16:35～18:00 第1回定例理事会開催
於：金沢大学角間キャンパス自然科学本館1階講義棟
第1回幹事会開催：平成29年5月19日（土）15:30-16:00 於：東大学東京分室
第2回定例理事会開催：平成29年5月19日（土）16:45-18:45 於：東大学東京分室
第3回定例理事会開催：平成29年8月12日（土）13:00-15:00 東北大学理学部理恵合同A棟402室
一般社団法人日本鉱物科学会事務局
理事会のWEB Meeting開催のために、ZOOM利用の第1回目テスト行い運用した。
一般社団法人日本鉱物科学会監査立ち合い：平成29年8月12日（土）9:30-11:30
平成28年度定時総会での電磁的方法による議決権行使が認められ実施する。
(2) 連合への各種対応：大会プログラム委員選出、環境災害対応委員会委員選出
(3) 後援、共催、協賛の承諾
(4) 会員への連絡
(5) 表彰に関する件：第8回平成29年度日本学術振興会育志賞受賞候補者推薦1名
平成30年度科学技術分野文部科学大臣表彰（若手科学者賞）候補者推薦なし

(6) 平成28年度役員報告

◇理事（32名）

会長（代表理事）：土山 明

副会長（代表理事）：榎並正樹

理事：

大藤 弘明,	鍵 裕之,	貴治 康夫,	佐藤 努,	角替 敏昭,
永嶋真理子,	濱本 拓志,	平島 崇男,	宮島 宏,	森下 知晃
阿部なつ江,	井上 徹,	上原誠一郎,	黒澤 正紀,	小暮 敏博
下林 典正,	高澤 栄一,	土谷 信高,	長瀬 敏郎,	中村美千彦
安東 淳一,	大和田正明,	河上 哲生,	川本 竜彦,	鈴木 正哉,
永井 隆哉,	伴 雅雄,	三河 内岳,	宮脇 律郎,	吉朝 朗

◇監事：小山内康人

◇幹事会

会長：土山 明、副会長：榎並正樹、庶務幹事：中村 美千彦、会員幹事：佐藤 努、会計幹事：栗林貴弘、行事幹事：黒澤正紀、
和文誌編集幹事：長瀬敏郎、英文誌編集幹事：平島崇男、渉外幹事：川本竜彦、広報幹事：伴 雅雄、Elements：片山郁夫、特務幹
事（会則・内規検討担当）：大和田正明、特務幹事（会員増対策担当）：吉朝 朗、三鉱連絡委員：中村美千彦、黒澤正紀、地惑連合連
絡担当：大谷栄治

◇行事委員会

委員長：黒澤正紀 幹事 副委員長：角替敏昭，磯部博志

委員：井上 徹（2017年LOC委員）鍵 裕之，片山郁夫，河上哲生，橋 省吾，寺崎英紀

◇岩石鉱物科学編集委員会

委員長：長瀬敏郎 幹事 副委員長：高澤栄一

委員：阿部なつ江，荒川洋二，石渡 明，上原誠一郎，大藤弘明，掛川 武，木村純一，
木村 真，興野 純，久保友明，栗谷 豪，栗林貴弘，小暮敏博，近藤 忠，
柴 正敏，下林典正，高須 晃，土谷信高，中井 泉，中村美千彦，永嶋真理子，
西戸裕嗣，野口高明，長谷中利昭，濱田麻希，林謙一郎，林信太郎，伴 雅雄，
坂野靖行，平島崇男，藤縄明彦，星出隆志，牧野州明，宮島 宏，三宅 亮，
村田 守，門馬綱一，塚本尚義，吉朝 朗

◇JMPS 編集委員会

委員長：平島崇男 幹事 副委員長：吉朝 朗， M. Satish-Kumar

委員：伴 雅雄，榎並正樹，藤本光一郎，林謙一郎，井上 徹，石渡 明，加藤文典 河野元治，木村純一，小木曾哲，
興野 純，松枝大治，三河内岳，中村美千彦，小畑正明，大谷栄治，奥寺浩樹，大和田正明，佐藤 努，佐脇貴幸，
篠田圭司，下林典正，杉山和正，角替敏昭，宇都宮聡

Jung Ho Ahn, Richard J. Arculus, D. Chandrasekharam, Ming Chen, Moonsup Cho, Alexander Khanchuk, Anhuai Lu,
Joseph R. Smyth

◇渉外委員会

委員長：川本竜彦(岩石関係)

委員：栗谷豪(火山)，辻森 樹(地質)，井上 徹(高压)，永嶋真理子(鉱物)，宇都宮聡(環境)

◇広報委員会

委員長：伴 雅雄

委員：奥村 聡，亀井淳志，橋 省吾，門馬綱一，中村美千彦(庶務幹事)

◇Elements 委員会

委員長：片山郁夫，副委員長：興野 純

委員：宇都宮聡，森下知晃，鍵 裕之，井上 徹，寺崎英紀，橋 省吾，宮脇律郎，横山 正(サイエンスボード)

Society News Editor：片山郁夫

Executive Committee Member：土山 明会長

中村美千彦(庶務)，長瀬敏郎(GKK)，平島崇男(JMPS)，黒澤正紀(行事)，川本竜彦(渉外)，伴 雅雄(広報)
(学会役職指定委員)

◇将来企画委員会

委員長：榎並正樹(副会長)

委員：阿部なつ江，井上 徹，大藤弘明，鍵 裕之，黒澤正紀，中村美千彦，永井隆哉，永嶋真理子，森下知晃
オブザーバー(役職指定)：土山 明(会長)

◇細則等検討委員会：

委員長：大和田正明(細則等検討特務幹事)

委員：川本竜彦，角替敏昭，永井隆哉，宮脇律郎 オブザーバー(役職指定)：榎並正樹(副会長)

◇新鉱物・命名・分類委員会

委員長：宮脇律郎

委員：上原誠一郎，小林祥一，清水正明，坂野靖行，松原 聡，浜根大輔，門馬綱一

◇教育普及委員会

委員長：奥山康子

委員：貴治康夫，林慎太郎，宮島 敏，川手新一

◇博物館委員会

委員長：坂野靖行

委員：宮脇律郎，宮島 宏，長瀬敏郎，森 康

◇日本鉱物科学会賞選考委員会

委員長：井上 徹，副委員長：高澤 栄一

委員：阿部なつ江，上原誠一郎，黒澤正紀，小暮敏博，下林典正，土谷信高，長瀬敏郎，中村美千彦，土山明(会長)

◇渡邊萬次郎賞選考委員会

委員長：宮脇律郎，副委員長：宮島 宏

委員：(2期目継続委員)：大和田正明，高澤栄一，平島崇男

(1期目委員)：上原誠一郎，土谷信高，吉朝 朗

◇日本鉱物科学会論文賞選考委員会

委員長：角替敏昭，副委員長：中村美千彦

委員：(2期目継続委員)：鍵 裕之，川本竜彦，森下知晃，吉朝 朗

(1期目委員)：阿部なつ江，井上徹，永嶋真理子，平島崇男

◇日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会

委員長：安東淳一，副委員長：三河内岳

委員：(2期目継続委員)大藤弘明，河上哲生，川本竜彦，永嶋真理子

(1期目委員)：井上 徹，鍵 裕之，黒澤正紀，下林典正

◇日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会

委員長：佐藤 努，副委員長：鈴木正哉

委員：(2期目継続委員)：土屋範芳，宮脇律郎，柳澤教雄，吉朝 朗

(1期目委員)：上原誠一郎，黒澤正紀，小暮敏博，永井隆哉

◇櫻井賞選考委員会

委員長：松原 聡

委員：中井 泉，清水正明，宮脇律郎，坂野靖行，宮島 宏

◇研究発表優秀賞選考委員会

委員長：奥村 聡，副委員長：門馬綱一

委員：(2期目継続委員)：岡本 敦，永嶋真理子，中野伸彦，森下知晃

(1期目委員)：齊藤 哲，坂巻竜也，三河内岳，三宅 亮

【2】 将来企画委員会報告（榎並委員長・副会長）

- 平成29年5月19日14：30-15：30将来企画委員会を開催し以下の理事会からの諮問について審議し第2回理事会に答申した。
- (1) 理事会を構成する理事の人数を22人にする事が第2回理事会で承認された。
 - (2) 研究発表優秀表彰式の実施方法は年中最終日にクロージングセレモニーを開催し授賞式を行うことが承認された。
 - (3) 外部団体からの受賞候補者推薦依頼への対応継続審議中。
 - (4) IMAの国内委員会活動の活性化：IMA分科会の結果により今後も継続審議していく。

【3】 特務幹事(会員増対策担当) 報告（吉朝特務幹事・理事）

会員減少対策として種々試案をしているところ、会員幹事や会計幹事も連携して継続して検討していく。

【4】 地惑連合報告（大谷連絡担当委員）

- ・今回はAGUとのジョイントミーティングとして開催した。
- ・セッション数255,英語セッションは153, 発表論文数5500, 参加者8000人を超えた。
- ・来年以降に関しては, AGU, EGU, AOGSなどとジョイントセッションを継続する。
- ・アジアの国との連携を検討。2019年には台湾の地球科学連合とのジョイントセッションを検討。準備にとりかかる。
- ・2020年には第二回のAGUとのジョイントを行う。会場については建設の遅れを懸念して幕張でおこなうことに決定。
- ・連合の定款を改定する。団体会員を代表する社員を廃止。社員はすべて正会員から選出。8月10日より代議員の立候補・推薦が開始。鉱物科学関係者の意見を反映させるために、立候補・推薦および関係者に投票をお願いします。代議員投票スケジュールは以下の通り。

選挙公示 8月1日(火) 候補者(立候補・推薦)受付 8月10日(木)～9月11日(月)
 候補者リスト公開 9月22日(金) 投票受付期間 10月2日(月)～11月1日(水)
 開票結果公開 11月6日(月) 詳細はWEBを参照：<http://www.jpgu.org/2017election/>

【5】 学術会議報告（大谷学術会議連携会員）

- ・第23期が9月に終了し、10月から新たな会員と連携会員が選出され、委員会、分科会などの再構築が行われる。会員、連携会員の候補の推薦が行われた。推薦は現会員・連携会員が行った。決定は会員による承認による。
- ・大型研究計画の改訂の時期になっている。
- ・分科会の活動に対する評価が行われ、了承された。
- ・大学における軍事研究のあり方について、検討された。防衛施設庁の研究費については、基礎研究であっても軍事の目的に使用することが明白であることから、これに申請することは望ましくないと結論付けた。そのような対応を各大学に求めることを幹事会声明として発表した。総会決議は問題が先鋭化することを避けて行われなかった。
- ・8月6日に地球惑星科学委員会企画分科会、地球惑星科学委員会総会が行われ、23期の報告と24期への申し合わせ事項が議論された。7月24日に人材育成分科会がメール審議にて行われ、地学地理の教科書の用語の統一についての提言が承認された。

【6】 教育普及委員会報告（奥山委員長）

- ・新しい学習指導要領の下での高校理科の科目「地学基礎」について、JpGUとして「主体的・活動的に深く学ぶために」という観点からの提言を行うべく、教育検討委員会で活動中。
- ・「2017地学教育研究集会」が、11月に東大地震研究所で開催予定。

【7】 博物館委員会報告（坂野委員長）

北川隆司鉱物コレクション巡回展は、大阪市立科学館・大阪市立自然史博物館にてJAMS後援で開催中（両館ともH29年6月4日まで）。その後、最後の巡回地となる産業技術総合研究所地質標本館での開催（7月11日～10月1日）が予定されている。JAMSは後援予定。

【8】 会員報告(佐藤会員幹事・理事)

(1)一般社団法人日本鉱物科学会 会員数 遷移（平成29年7月31日現在）

	28年9月24日現在会員数(旧団体)	29年7月31日現在会員数
一般正会員 (R)	628名	598名
シニア会員 (RS)	171名	175名
学生正会員 (S)	83名	81名
永年会員 (L)	34名	35名
名誉会員 (H)	13名	17名
会員小計	929名	906名
賛助会員	10件	9件
購読会員	55件	53件
海外購読会員(直扱)	0件	1件
海外交換寄贈	86件	85件
国内交換	6件	5件
国内寄贈	6件	6件
団体小計	163件	159件
合計	1,092件	1,065件

(2) 過去会員推移（平成19年統合から平成29年7月31日まで）

	過去会員推移 2017年7月31日まで										
	2007年 9月20日	2008年 9月21日	2009年 9月9日	2010年 9月23日	2011年 9月8日	2012年 9月19日	2013年 9月11日	2014年 9月18日	2015年 9月25日	2016年 9月24日	2017年 7月31日
一般正会員(R)	892	886	865	846	840	702	686	672	652	628	598
シニア会員(RS)						139	142	148	154	171	175
学生正会員(S)	78	76	78	68	88	103	94	87	88	83	81
永年会員(L)	39	36	33	37	39	37	40	41	36	34	35
名誉会員(H)	11	9	9	7	7	7	6	6	13	13	17
会員合計	1020	1009	985	958	974	988	968	954	943	929	906

II. 新名誉会員の紹介

会員から推薦された下記4名の名誉会員候補者について名誉会員推薦委員会で審議の結果、全員一致で内規5項の基準を満たしているとの判断し、理事会に答申され、第3回理事会で承認された。

新名誉会員 石原舜三会員、千葉とき子氏、加藤祐三氏、山中高光会員

III. 細則等改正の件（運営細則、会員会費規定など）

理事会から、法人に対応した以下の細則等改正について諮問を受け、随時メール会議を通して改訂案を検討してきた。第2回理事会に提案し、第3回理事会で承認されたことを報告します。第3回理事会で承認されたことにより、学会誌や学学会 HP に掲載します。

(1) 運営細則 (2) 会費規定 (3) 各委員会内規など (4) 各ガイドライン (5) 選挙内規

IV. 平成29年度（一般社団法人第2期）事業計画書及び収支予算案などの件

(1) 平成29年度事業計画紹介

編集事業：岩石鉱物科学、Journal of Mineralogical and Petrological Sciencesの発行

行事事業：2018年年会（山形大学）の開催と平成29年度定時社員総会の開催

各賞の表彰事業

その他本会の目的を達成するために必要な事業

(2) 平成29年度収支予算案紹介（8頁に掲載）

V. その他

決議事項

1. 第1号議案 平成28年度（一般社団法人第1期）決算承認の件

(1) 貸借対照表（9頁）

(2) 正味財産増減計算書（10頁）

(3) 財務諸表に対する注記（11頁）

(4) 附属明細書（11頁）

各賞授賞式

【1】日本鉱物科学会賞授与

平成28年度日本鉱物科学会賞第16回受賞者 大藤弘明会員

平成28年度日本鉱物科学会賞第17回受賞者 川本竜彦会員

【2】渡邊萬次郎賞授与

渡邊萬次郎賞第33回受賞者 小藤吉郎名誉会員

【3】日本鉱物科学会論文賞授与

平成28年度日本鉱物科学会第18回論文賞受賞論文 受賞者 川寄智佑会員 本吉洋一会員

【4】日本鉱物科学会研究奨励賞授与

平成28年度日本鉱物科学会研究奨励賞第21回受賞者 境 毅会員

平成28年度日本鉱物科学会研究奨励賞第22回受賞者 越後拓也会員

【5】日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与

平成28年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞受賞書 大里 齊会員

【6】JMPS 学生論文賞授与

平成28年度JMPS学生論文賞受賞論文 受賞者 吉田健太会員

平成28年度JMPS学生論文賞受賞論文 受賞者 菊池亮佑会員

平成29年度会計収支予算 (平成29年8月1日～平成30年7月31日)		
科 目		
収 入 の 部	前年度予算	H29年度予算
会 費 収 入	8,004,400	7,980,000
一般会員	5,000,000	5,000,000
シニア会員	1,000,400	1,100,000
学生会員	350,000	350,000
永年・名誉会員	24,000	20,000
購読会員	930,000	850,000
賛助会員	300,000	260,000
前年度分	400,000	400,000
出 版 物 収 入		2,000,000
和文誌(GKK)収入	2,000,000	250,000
英文誌(JMPS)収入		1,750,000
広 告 収 入	160,000	40,000
年 会 収 入	2,600,000	2,600,000
雑 収 入	45,000	70,000
事業活動 収入	12,809,400	12,690,000
事業活動前年度繰越金	5,433,186	5,044,372
事業活動費 小計①	18,242,586	17,734,372
学会誌等刊行基金 前年度繰越金	3,476,946	3,476,958
学会賞・奨励賞・論文賞基金 前年度繰越金	1,620,503	1,390,490
渡邊萬次郎賞基金 前年度繰越金	170,562	100,512
国際学会・年会基金 学会活動支援基金 前年度繰越金	2,278,978	2,124,660
基金繰越金 小計②	7,546,989	7,092,620
収 入 合 計 ① + ②	25,789,575	24,826,992
支 出 の 部	前年度予算	H29年度予算
刊 行 費	4,300,000	4,332,400
GKK印刷本冊費		1,000,000
JMPS印刷本冊費	2,900,000	1,900,000
GKKその他印刷費		200,000
JMPSその他印刷費		500,000
送料・その他	1,000,000	400,000
J-Stage投稿システムEM利用料		32,400
英文校閲費	400,000	300,000
集 会 費	2,750,000	2,710,000
年会開催費	2,600,000	2,600,000
会議費	150,000	110,000
Elements講読会費	1,700,000	1,500,000
管 理 費	5,055,000	5,307,400
支払報酬	180,000	356,400
租税公課		1,000
法人税、住民税及び事業税	150,000	100,000
給料手当		3,200,000
法定福利費	4,090,000	480,000
旅費交通費通勤手当		375,000
臨時雇賃金	-	150,000
旅費交通費出張費	150,000	150,000
水道光熱費		20,000
地代家賃	70,000	65,000
通信費電話回線料	120,000	120,000
通信費郵送料など		50,000
送金手数料		110,000
消耗品費PC関係		20,000
消耗品費コピー利用代	295,000	40,000
消耗品費その他		50,000
雑費		20,000
事業活動 支出 小計 ③	13,805,000	13,849,800
学会誌等刊行基金	-	0
学会賞・奨励賞・論文賞基金	270,640	200,000
渡邊萬次郎賞基金	55,000	50,000
国際学会・年会基金 学会活動支援基金	106,160	100,000
基金支出 小計 ④	431,800	350,000
支出合計③ + ④	14,236,800	14,199,800
次年度繰越金合計	11,552,775	10,627,192
支 出 合 計	25,789,575	24,826,992

貸借対照表

2017年7月31日現在

	(単位:円)
科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	5,450,372
流動資産合計	5,450,372
2. 固定資産	
(1) 特定資産	
学会誌等刊行基金	3,476,958
学会賞・奨励賞・論文賞基金	1,390,490
渡邊萬次郎賞基金	100,512
国際学会・年会基金	2,124,660
固定資産合計	7,092,620
資産合計	12,542,992
II 負債の部	
1. 流動負債	
預り金	87,055
前受会費	406,000
未払法人税等	78,500
流動負債合計	571,555
負債合計	571,555
III 正味財産の部	
1. 一般正味財産	
一般正味財産	11,971,437
一般正味財産合計	11,971,437
(うち特定資産への充当額)	(7,092,620)
正味財産合計	11,971,437
負債及び正味財産合計	12,542,992

正味財産増減計算書

2016年 9月 1日から2017年7月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
会費収入	7,726,172
一般会員	5,221,000
学生会員	366,000
シニア会員	1,155,000
永年・名誉会員	21,000
購読会員	843,172
賛助会員	120,000
出版物収入	2,307,410
広告収入	30,000
年会収入	2,963,000
参加費	1,666,000
懇親会費	792,000
受取広告料	170,000
受取助成金	300,000
事前講演要旨集代	35,000
受取寄附金	9,000
雑収入	71,911
著作権料収入	71,856
受取利息	55
経常収益計	13,107,493
(2) 経常費用	
刊行費	4,831,500
印刷製本費	4,160,726
通信運搬費	416,725
支払リース料	74,304
英文校閲費	147,345
J-Stage-EM利用料	32,400
集会費	2,768,565
年会開催費	2,658,845
会議費	109,720
学会賞副賞	300,070
鉱物学会賞記念品	70,000
研究奨励賞記念品	60,640
論文賞記念品	8,380
受賞者懇親会費	35,000
受賞者参加費	12,000
渡邊萬次郎賞記念品	64,050
発表賞支援金	50,000
Elements購読会費	1,513,683
管理費	4,892,032
給料手当	2,840,564
臨時雇賃金	81,500
法定福利費	344,050
旅費交通費	498,190
通信運搬費	154,458
水道光熱費	18,518
地代家賃	61,863
消耗品費	458,621
印刷製本費	37,368
支払報酬料	178,200
支払手数料	111,861
租税公課	2,500
支払寄付金	50,000
YMO補助	34,560
雑費	19,779
経常費用計	14,305,850
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,198,357
評価損益等計	0
当期経常増減額	△ 1,198,357
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
任意団体受取寄附金	13,248,300
経常外収益計	13,248,300
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	13,248,300
税引前当期一般正味財産増減額	12,049,943
法人税、住民税及び事業税	78,506
当期一般正味財産増減額	11,971,437
一般正味財産期首残高	0
一般正味財産期末残高	11,971,437
II 正味財産期末残高	11,971,437

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針
 (1) 消費税等の会計処理
 消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高
 特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学会誌等刊行基金	0	3,476,958	0	3,476,958
学会賞・奨励賞・論文賞基金	0	1,620,510	230,020	1,390,490
渡邊萬次郎賞基金	0	170,562	70,050	100,512
国際学会・年会基金	0	2,278,988	154,328	2,124,660
活動支援基金	0	12,828	12,828	0
合 計	0	7,559,846	467,226	7,092,620

3. 特定資産の財源等の内訳
 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学会誌等刊行基金	3,476,958	(0)	(3,476,958)	(0)
学会賞・奨励賞・論文賞基金	1,390,490	(0)	(1,390,490)	(0)
渡邊萬次郎賞基金	100,512	(0)	(100,512)	(0)
国際学会・年会基金	2,124,660	(0)	(2,124,660)	(0)
合 計	7,092,620	(0)	(7,092,620)	(0)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載 区分
平成28年度学会等開催助成金	石川県	0	200,000	200,000	0	—
日本鉱物科学会2016年年会開催補助金	金沢市	0	100,000	100,000	0	—
合 計		0	300,000	300,000	0	

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産については財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

該当なし。

監査報告書

平成29年8月12日

一般社団法人日本鉱物科学会
代表理事（会長） 土山 明 殿
代表理事（副会長） 榎並 正樹 殿

一般社団法人日本鉱物科学会
監事 小山内 康人



私監事は、平成28年9月1日から平成29年7月31日までの一般社団法人日本鉱物科学会第1期事業年度における会計及び業務の監査を行いました。

その結果につき次の通り報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続きを用いて計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書の適正性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の方向を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、理事の業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 計算書類及び付属明細書は、一般社団法人日本鉱物科学会の財政及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い一般社団法人日本鉱物科学会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の業務の執行に関し、不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上